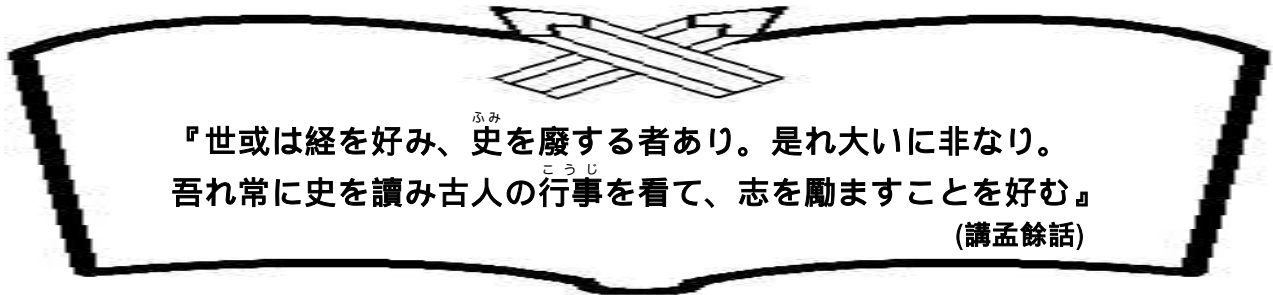


「先人に学ぶ人間学塾」創設のこころ

創設者阪本 恭氏(私塾研究家)の創設のきっかけは、吉田松陰の「講孟余話」の一節に思いを留めた。それは次ぎのような文章だった。「講孟余話」巻の三上』第26章」



これをヒントにして、平成元年(1989)3月に「先人に学ぶ人間学塾」を大阪に創設した。塾は「温故知新」の精神に則り、先人たちの生き方を通じて、リーダーのものの見方、考え方を学ぶことを基本的趣旨にした。講師は塾生相互が基本だが、時には知り合いの講師を招いたりして、「我以外皆我師」の精神も織り交ぜながら、人間的ふれあいを大事にすることを念じて運営してきた。

1989年3月発足以来、平成18年(2006)11月例会で第200回を迎えさせていただいた。

もどる